

防災フェーズ	名称： 市立大洲病院 防災タイムライン『2病棟』		(第1版 2019.12) 策定・更新：市立大洲病院災害対策チーム					
	策定目的：	当院の患者と職員の安全確保 および 施設の被災を最小限にして医療行為を継続するため		だれが	各部門に必要な固有で細分化された『各部門編タイムライン』は、本紙を雛形に各部門で策定する。			
	対象災害：	暴風、大雨、河川氾濫口		本部	事務課	2病棟		
	被災想定：	建物への浸水、道路冠水などによる孤立		全部門共通				
	いつ (OR条件)		なにを (誰でもわかる明確な内容、同一フェーズ内は順不同)					
フェーズI	気象庁の警戒レベル2 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報 ・はん濫注意報	台風が集中豪雨 ・発生 ・接近予測の 72～48時間前	河川の状況 【はん濫注意水位】 ・大洲第2水位観測所の水位 3.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する				
				情報	気象情報、ダム放流情報の確認 (以後、定期的に継続)	●		
				情報	近隣河川の水位を確認 (以後、定期的に継続)	●		
				関連部門	看護部指示の下、勤務調整			○ 病棟スタッフへ被災時の出勤状況を確認する
				関連部門	入院予約患者へ連絡調整			○ 外来と連携し入院予約患者へ連絡を行う
				関連部門	状態不良患者およびターミナル患者家族への連絡調整			○ 患者状況を家族へ連絡し、緊急時の連絡先、対応について確認
関連部門	チーム内で入院患者カンファレンス 連絡調整			○ フェーズ上昇時の患者対応について検討				
この行は使用せず、この上に新規行を追加する								

フェーズII	気象庁の警戒レベル3 ・大雨警報 ・洪水警報 ・高潮警報 (警報切替の可能性あり) ・はん濫警戒情報	台風が集中豪雨 ・進路上にあり ・接近予測の 48～24時間前	河川の状況 【はん濫危険水位(無堤)】 ・大洲第2水位観測所の水位 4.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する				
				情報	通行止め等の道路状況を確認 (以後、定期的に継続)	●		
				情報	大洲市危機管理課と情報共有 (以後、継続)	●		
				情報	他院と救急体制を確認 (被災した場合の連携など)	●	○	
				情報	停電時非常時の外部連絡先を再確認	●	○	
				モノ	防災備品の在庫確認	●	○	○ 目的：職員の安全確保、施設の保全、医療機器の保全 (懐中電灯+電池、ヘルメット、カムテープ、軍手、防水テープ、水囊用ビニール袋 etc.)
関連部門	関連施設への連絡情報交換			○ 被災時の対応について関連施設との情報交換				
関連部門	主治医との連絡調整確認 (本部指示の下)			○ 被災時の対応について主治医と検討				
関連部門	無停電コンセント等の確認 (一回目)			○ 無停電コンセント使用状況確認				
この行は使用せず、この上に新規行を追加する								

フェーズIII	災害発生への恐れ (台風・豪雨の接近が休日・深夜) があれば 業務と並行して「仮設置」する		災害対策本部《仮》設置				《仮》災害対策本部は、1階事務課に設置			
	気象庁の警戒レベル4 ・土砂災害警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫危険情報	台風が集中豪雨 ・接近中 ・接近予測の 24～12時間前	河川の状況 【はん濫危険水位(有堤)】 ・大洲第2水位観測所の水位 5.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する						
				本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○		
				本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●	○	○ 外来患者の早期帰宅を促す (貼紙や放送で広報) 面会者への同様の対応	
				本部	時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (ホワイトボードまたはPC,紙ノートでも可)	★	●		○ 緊急時の情報管理方法 (ふりかえりにも活用)	
				ヒト	災害対策本部《仮》設置時点の、医師を含む全職員の勤務調整(1) とりまとめ担当：事務課 (正式設置の際の準備として)	●	○		○ 目的：災害対策本部を設置する前の段階で、予備的に行う (各部門で動息表、帰宅困難者、通勤困難者、通勤経路など調査する)	
				モノ	ラジオ、防災無線など最低ラインの通信手段が使えるか確認 (電池も)	●		○	○ 目的：電話とネットが使えない際の情報収集への備え	
				モノ	屋上、階段室の確認	●		○	○ 目的：浸水時、屋上から救出される場合、屋上に安全に避難できるか? 屋上は安全か? など確認	
				モノ	全ての窓を施錠、カーテンやブラインドを閉める	●	○	○	○ 目的：暴風などで窓ガラスが破損した時の飛散防止のため (他部門も協力)	
				モノ	ベランダや窓の下に動かせるモノがあれば撤去	●	○	○	○ 目的：暴風対策 (他部門も協力)	
				モノ	屋外の備品撤去	●		○	○ 目的：暴風対策 (案内板、カラーコーン、傘立て等)	
				モノ	非常用電源の作動確認	●		○	○ 目的：停電対策 (電源必須の機器は赤コンセントに接続)	
				モノ	充電できる機器は充電する (院内PHS,携帯電話も含む)	●	○		○ 目的：停電対策	
				モノ	PCと周辺機器のケーブルに、外しても戻せる目印をつけ、写真を撮る	●	○	○	○ 目的：退避したあとの復旧時に再配線で混乱しないため	
				防水	「水囊」準備①ビニール袋②水囊マップ③分担	★	●	○	○ 事前作成した「水囊マップ」を参照する	
				関連部門	無停電コンセント等の確認 (二回目)				○ 人口呼吸器・モニターなど重要医療機器使用患者の確認	
				この行は使用せず、この上に新規行を追加する						

フェーズIV	災害レベルが上がる恐れがあれば、正式に設置する		災害対策本部《正式》設置				災害対策本部は、1階事務課から3階講堂に移動 本部用ホワイトボード準備		
	気象庁の警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・何らかの被災が 確定 ・接近予測の 12～6時間前	河川の状況 【はん濫危険水位(有堤)】 ・大洲第2水位観測所の水位 5.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する					
				本部	災害対策本部設置時点の、入院患者、職員数の把握を指示	★	●	○	○ 目的：孤立した場合の飲料水、食料、トイレ、水タンク貯水量などの試算のため
				本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○	
				本部	ホワイトボードに時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (以後、継続)	★	●		○ 緊急時の情報管理方法 (ふりかえりにも活用)
				本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●	○	○ 外来患者の早期帰宅を促す (貼紙や放送で広報) 面会者への同様の対応
				本部	「災害対策本部設置」を職員向けにメールで周知 (以後、必要に応じてメール送信)	★	●	○	
				ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(2) とりまとめ担当：事務課	★	●	○	○ 目的：災害発生時に職員招集などに支障があるヒトを確認する
				ヒト	必要に応じ、屋内託児への切替を検討 (職員の動息と連携)	★	○	○	○ 臨時の院内保育所は4階に開設する
				モノ	近隣丘陵地のフラワーパーク駐車場の使用許可を取り、敷地内駐車場の車を移動するアナウンスをする	★	●		○ 目的：洪水対策
				防水	①水囊を作成 ②分担して水囊マップの位置に置く	★	●	○	○ 事前作成した「水囊マップ」を参照
				防水	1階の各部屋のコンセントを防水テープでシール	★	●	○	○ 出入口を最後に防水する
				防水	各装置の電源を切る		○	○	
				防水	ケーブルに目印を付けたPCと周辺機器をデスク上へ退避	★	●	○	○ 目的：退避したあとの復旧時に再配線で混乱しないため
				防水	移動できない機器がある部門の防水対策		●	○	○ 防水テープで部屋のドア、コンセントをシール
				防水	各部門の重要な医療機器を退避		○	○	○ 3階講堂へ退避する。
				防水	窓際患者の避難・ベッド位置確認			○	
				この行は使用せず、この上に新規行を追加する					

フェーズV	気象庁の警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・最も接近	河川の状況 ・久米川堤防の越水 ・脇川の堤防決壊	この行は使用せず、この下に新規行を追加する					
				モノ	敷地内、建物内の被害状況の確認	★	●	○	
				モノ	建物が孤立 または 帰宅困難者がいる場合：職員の休憩室 (待機室) の確保と周知	★	●		○ 休憩室は、各病棟の空き病室または2階休憩室
				停電	自家発電の有無を確認、貯水タンクが使用できるか確認	★			
				停電	医療機器の電源確保の優先順位に従い、電力事情によって切り分ける内容を再確認 (以後、電力事情によって対応する)	★	●	○	
				停電	【停電】または【停電に備え】エレベータ使用制限	★	●		
				断水	屋上貯水タンクの浄水を計画的に使用するため、節水の周知 (貼紙設置)	★	●		
				断水	トイレ用タンクの水を計画的に使用するため、トイレ使用制限 (貼紙やロープ設置) ※1階トイレと各階和式トイレは使用禁止	★	●		
				ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(3) とりまとめ担当：事務課	★	●	○	○ 目的：災害発生時に職員招集などに支障があるヒトを確認する
				ヒト	常勤医師、非常勤医師の動息と移動手段の確認	★	●	○	
				ヒト	職員の安否確認 (全体または部門単位で)	★	●	○	
				関連部門	入院患者、職員を含めて非常食の切替え	★		○	○ 栄養科と検討
情報	救急輪番病院の被害状況を確認	★	●						
この行は使用せず、この上に新規行を追加する									